

海辺の漂着物調査 あいさつ文(小中学校生徒向け)

本日は、海辺の漂着物調査に参加下さりありがとうございます。

この調査は1996年、平成8年に始まりました。最初は、日本海に面する日本国内の本州の10県だけの参加でしたが、今では北海道や九州に加えて、中国、韓国、ロシアの国々も参加している調査であります。

今年も、9月から10月にかけて日本海・黄海沿岸諸国の全部で90もの海岸で調査が実施されます。

さて、みなさんの目の前に見える日本海はどこにつながっていると思いますか？

そうです。この海は世界の国々につながっています。ここで、皆さんちょっと想像してみてください。この浜辺の漂着物はいつ、どこから、どのようにきたのですかね。

また、その漂着物にもし心があるとすれば、いま、何を考え、感じているのでしょうかね。

川辺で捨てられたごみは、川の流れにそって、やがて海に流れます。そして、重いものは海の底に沈み、軽いものはどこかの海岸に打ち上げられます。誰かが捨てたごみはどこかの海や海岸を汚すだけでなく、鳥や魚などにも悪い影響を与えます。

では、このような漂着物による悪い影響をなくすためにはどうすればいいですかね。

答えは、皆さんと調査をしながらいっしょになって考えたいと思います。

今日、この海岸に集まった皆さんにとって、この海辺の漂着物調査に参加したことが、漂着物のこと、海のこと、そして地球のことを考えるきっかけになってくれれば、嬉しい限りです。

本日はみなさんの目だけではなく、鼻や手、手や足などを使って海辺全体の雰囲気を感じて体験してください。海はすばらしく、美しく、同時に大きくてなんでも包み込んでしまうかのような海の環境ですが、とても繊細で、本日ここに集まったみなさん一人ひとりあたたかい行動をまっています。

最後になりますが、安心して楽しく、今日の調査を行うために、グループの指導者の指示に従い怪我などしないようにしてください。

(約900字)